



# 日本語と琉球語・琉球方言

◆ とき 平成29年 **10月6(金)、13(金)**

14:00~15:30 (90分×2回)

参加者募集!

2009(平成21)年、UNESCO(国際連合教育科学文化機関)は“Atlas of the World’s Languages in Danger”において「日本には消滅するおそれのある8つの危機言語が存在する」と指摘しました。アイヌ語、八丈語、そして6つの琉球諸語です。本講座ではそれらの8言語の中から、琉球語・琉球方言の現状と保存活動を紹介し、言語とは何か、言語文化とは何か、それらを守るにはどうすれば良いか、といったことを、受講者の皆さんとともに考えます。第1回は、そのためのウォーミング・アップとして、日本語を取り上げ、「言葉を科学的に見つめる」面白さを味わっていただければと考えています。

1	10/6(金)	日本語の常識を疑う!	講師 県立広島大学 人間文化学部 准教授 小川 俊輔 さん
<p>皆さんは、「日本語学」という学問分野があることをご存じでしょうか。「日本語学」はその名のとおりに、日本語を科学的に考究する学問分野です。日本語母語話者であれば考えもしない、「あかさたな」はなぜこの順なのか、国語辞書には何が書かれてあるか、「は」と「が」の違いはなにか、など、普段はあまり意識しない日本語のあれこれについて、一緒に考えてみましょう。</p>			
2	10/13(金)	琉球方言ミニ講座 一奄美大島方言編一	講師 広島経済大学 経済学部 准教授 重野 裕美 さん
<p>琉球方言は鹿児島県の奄美諸島と沖縄県で話されていることばです。本講座の前半では主に①奄美大島方言を中心とした琉球方言の音や文法の特徴について学ぶとともに、②危機に瀕している方言として記録・保存・継承に取り組んでいる活動を紹介し、後半では前半で学んだことの応用として、③奄美大島方言で簡単な自己紹介文を作成していきます。琉球方言を学ぶことをとおして、普段話していることばに興味を持っていただくきっかけとなれば幸いです。</p>			

- ◆ 会場 廿日市市 あいプラザ 2階 健康指導室
- ◆ 定員 40人 (申込多数の場合は抽選)
- ◆ 受講料 無料
- ◆ 申込方法 往復はがきにて、下記へ郵送してください。(裏面参照)  
\* なお、往復はがき以外での申込受付はできません。  
\* お申込は、はがき1枚につき1名でお願いします。
- ◆ 申込締切 9月25日(月) 必着
- ◆ 申込・問合せ



廿日市市生涯学習推進本部  
〒738-8501 廿日市市下平良1丁目11番1号  
廿日市市教育委員会 生涯学習課 内  
TEL (0829)30-9203 (直通) FAX (0829)32-5163



## 【往復ハガキ記入要領】

●往復はがきに必要事項を明記のうえ、郵送してください。

- ◎ 往 信(〒738-8501 廿日市市役所 生涯学習課 行(住所不要))  
裏面には「県立広島大学 公開講座受講希望」、①名前 (ふりがな)、②郵便番号、  
③住所、④電話番号を記入してください。

〒738-8501  
廿日市市役所  
生涯学習課 行

「県立広島大学 公開講座受講希望」  
(フリガナ)  
① 名前  
.....  
② 〒  
.....  
③ 住所  
.....  
.....  
④ 電話番号  
(            )            -

- \* お預かりした個人情報、本事業の運営目的以外には、一切使用いたしません。
- \* 受講の可・不可につきましては、締切後の返送になります。

## ◎ 返信

表：必ずご自宅の郵便番号・住所・名前をお書きください。  
お名前の後ろには、「様」をお書きください。

裏：記入不要です。こちらで受講の可・不可等を記載して返送いたします。

## <会場周辺図>



あいプラザ 2階 健康指導室  
(広島県廿日市市新宮 1-13-1)  
\*駐車場に限りがあります。  
できるだけ公共交通機関をご利用ください。

主催：県立広島大学地域連携センター  
廿日市市教育委員会  
廿日市市生涯学習推進本部